

中花たちはな

『夢や目標に向かい、自分とふるさとの未来を切り拓く子』

豊岡市立豊岡南中学校学校だより

令和7年5月27日

No.2 生徒数 545 名

非認知能力の向上に向けて

これまでの学校教育では、子どもたちの学力向上のため、ドリルや繰り返し練習を行い、テストのように数値で表せる力（認知能力）の向上を図ってきました。しかし、子どもたちを取り巻く社会的背景や家庭環境が行動に影響して、その結果、学力が向上しないということがありました。

そのような中、文部科学省の全国学力・学習状況調査の結果の委託研究や OECD（経済協力開発機構）の調査結果から、子どもの「やり抜く力、自制心、他者と協働する力」等、数値に表しにくい力（非認知能力）を高めると、認知能力を高める可能性があることが分かってきました。そして、この非認知能力を高めることは、将来的にも、「自立してよりよい人生を築くことができる」と言われています。

学校行事等での取組の中で、成功体験や有意義な失敗体験を重ねることが、非認知能力を伸ばす大きなチャンスととらえています。

5月16日（金）には、1年生が校外学習で「豊岡クエストウォーク」や「大縄跳び」に取り組みました。例えばこの校外学習では、クラスメイト、班員と協力（他者と協働する力）しながら、疲れても我慢（自制心）して、最後までやり切る（やり抜く力）といった非認知能力を高める取組が入っています。

また、保護者の皆様をはじめ、地域の事業所の方々のお世話になって、3年生は、5月28日（水）から修学旅行、2年生は、6月2日（月）からトライやる・ウィークを実施します。

このような様々な教育活動を通して、生徒たちが主体性や協働性等を発揮できる出番をつくり、生徒の成長を促すよう背中を押す指導に努めてまいります。



一人一人の違いを大切に

本校には、生徒545名、教職員58名、計603名が在籍しています。生徒も先生も、それぞれ性格や感じ方、考え方が違います。但馬の中学校で一番人数の多い本校だからこそ、自分と違う考えに触れる機会がたくさんあります。時には意見がぶつかることもあるかもしれませんが、それはお互いが違った能力や個性を持っているという証拠です。みんなが同じことを考え、違いがない世界は、味気ない世界になってしまうのではないのでしょうか。

自分と違う考えに触れることができるから、「そんな見方、考え方もあるのか」と価値観が広がり、物事を多角的に捉える能力が養われていきます。

今後も、一人一人の違いを大切に、互いの良さを認め合い、他者を理解しあうことに取り組み、生徒も先生も「登校することを楽しみに思える学校」づくりに努めてまいりますので、保護者の皆様のより一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【お願い】 学校の様子を保護者・地域の皆様にご覧いただくために、学校だより等の印刷物に生徒の写真を使用することがあります。個人が特定される写真が掲載されることに不都合のある方は、事前に学校までお知らせください。（TEL22-2546） ホームページ掲載の写真は加工して、名前等の個人情報も掲載しません。